

令和元年8月9日

所沢市長 藤 本 正 人 様

所沢市廃棄物減量等推進審議会
副会長(会長代理) 秋 元 智 子

所沢市一般廃棄物処理基本計画の部分改訂及び
所沢市災害廃棄物処理計画の策定について(答申)

所沢市では、廃棄物の発生抑制及び発生から最終処分に至るまでの適正な処理、また「循環型社会」の形成を目指した廃棄物処理の基本方針である一般廃棄物処理基本計画を平成27年10月に改訂し、様々な取組を推進してきました。

本来であれば改訂から5年後の令和2年度に改訂を行うところですが、(仮称)第2一般廃棄物最終処分場に係る計画の進展や、東部クリーンセンター灰溶融炉の廃止等、廃棄物処理を巡る状況は大きく変化しております。

また、東日本大震災をはじめとして、近年多発している大規模災害への備えとして、平時から、災害時に著しく多量に発生する廃棄物の処理に係る計画の策定が求められているところです。

こうした中、平成30年8月3日付け所資推第83号で所沢市一般廃棄物処理基本計画の部分改訂及び所沢市災害廃棄物処理計画の策定について、諮問がありました。

本審議会では、諮問を受け、慎重に審議を行いました。さらに、本年5月には、パブリックコメント手続が実施され、市民から様々な意見が寄せられました。

本審議会は、議論の成果や市民の意見を踏まえるとともに、所沢市の実情や社会情勢などを見据え、本諮問に対し、別添の所沢市一般廃棄物処理基本計画(部分改訂案)及び所沢市災害廃棄物処理計画(案)をもって答申とします。

附帯意見

- 1 一般廃棄物処理基本計画については、世界的に食品ロス削減やプラスチックごみ削減等の機運が高まっていることから、これらの動向を注視するとともに、積極的に関連する施策に取り組んでください。
また、さらなるごみ減量を図るためには、バイオマス資源化施策やごみ有料化等をはじめとして、近隣他市に先駆けた施策の検討も今後必要となると考えられます。国や県、他自治体の動向の把握に努め、効果的な施策展開につなげられることを期待します。
- 2 災害廃棄物処理計画については、策定後も、想定される課題に継続して取り組むとともに、国及び県や他自治体の動向を踏まえ、定期的な見直しを図ることで、より実効性の高いものとしてください。

所沢市廃棄物減量等推進審議会委員名簿

副会長	秋	元	智	子
委員	久	下	紀	世
委員	長	沼		浩
委員	若	山	芳	男
委員	高	柳	倫	子
委員	齋	藤		操
委員	岡	野	祥	平
委員	宮	崎	貴	代子
委員	前	久保	当	子
委員	福	田	すゞ	子